

英語科

中学二年における日本人教師と外国人講師との

協同による英語指導の試み

山本 岩 男

1 外国人講師活用のねらい

本校における教育の目標は平和と国際理解である。そのうち国際理解については、経済を中心に諸外国との交流が避けられない今日の社会において、異文化に属する人々と互いを尊重しあって生きていくことができる生徒を育成するための国際理解である。互いを尊重しあって生きていくためには、互いに文化について深く理解しなければならない。そこに、国際理解教育が必要になってくるのである。国際理解教育を推進するにあたって、本校英語科ではコミュニケーション活動を重視した英語指導を行い、そのひとつとして平成元年度より英語指導助手として外国人の非常勤講師を採用し、中学で日本人英語教師とのチームティーチングを実践している。その目的は知識としての英語ではなく、生きた言葉としての英語を指導すること、すなわち、英語を用いて自分の考えを理解する能力の育成である。外国人講師が授業に参加することによって英語でコミュニケーションをはかることが必要な場面をつくりだし、コミュニケーション能力の必要性を納得させ、それを育成するための学習についての動機づけをすることによって、この目的を達成させようとするものである。このような目的意識を持ちながら、平成元年度の中学二年生にチームティーチングによる指導を行ったので、その指導内容、それについての考察について以下に報告する。

2 ティームティーチングによる指導

A 授業の環境

- ①時 10月から2月にかけての毎週土曜日
- ②場所 各ホームルームと視聴覚教室を同時に使用
- ③生徒数 ホームルーム、視聴覚教室とも20名ずつ
- ④授業者 山本岩男、John P.H. Vigman
- ⑤授業の展開例（第2限 2年B組の場合）

	9:40~10:05	10:05~10:30
グループ1 (20名、ホームルーム)	Vigman	山本
グループ2 (20名、視聴覚)	山本	Vigman

B 授業の内容と方法

①内容

本校は英語の授業を週4時間もうけているので教科書（New Horizon、東京書籍）を進める必要はなく、聞いたり、話したりする練習をしながら、既習の事項の復習もできるようなオリジナルのプリントと教材を使用した。その構成は a.既習の文法事項で文化の違いなどを意識する対話 b.未習の単語の意味 c.対話の意味 d.対話にもりこまれた重要な文法事項のドリル e.対話を促進するゲーム であった。

a	b
	c
	d
	e

次ページにその一つ（Shopping）をしめす。その教材の最後にあるのは、インフォメーションギャップを利用して対話練習を行わせるための表で、内容は物価の国際比較を示すものである。空欄になっている箇所異なる二種類のプリントを用意し、各生徒はそのうちどちらか一方を受け取る。そして自分の表を完成させるために、もう一種類の表を持つ生徒を探し、英語で How much is……? It's…yen. という話をしながら表を完成していった。その他のプリントの内容は Introduction, School Life, Body Language, On The Phone, Going To The Movies, 1989, New Year Resolution, Food であった。また最後の2回の授業で対話の発表会を各ホームルーム単位で行い、生徒にコメントを書かせた。

3 Shopping

1 Dialogue

A: We learned about shopping in America.

B: Yes. Mr Yamamoto said, the way of giving change is different.

A: I want to ask John about it. How does a clerk give change when you buy a 17 dollar shirt and pay with a 20 dollar bill?

J: She would do this. 18, 19, 20. Thank you.

2 Reading practice

3 Pair Practice

4 Presentation

5 How to read numbers

$\frac{1}{3}$ $\frac{1}{5}$ $\frac{2}{3}$ 1989, 11:25, 3. 14
0 5 2 - 7 8 1 - 3 0 1 4

3 買 い 物

1 New Words

way 方法 different 異なる
change おつり

2 対話の意味

A: 私たちはアメリカでの買い物について勉強しました。

B: そうですね。山本先生はおつりの渡し方が違うと言いました。

A: わたしはそのことをジョン先生にたずねてみたいと思います。

17ドルのシャツを買って20ドル札で支払ったら店員はどうやっておつりを渡しますか。

J: たぶんこうするでしょう。18, 19, 20。どうもありがとう。

3 数字の読み方について

a. 分数

$\frac{1}{2}$ half, $\frac{1}{3}$ one-third,
 $\frac{2}{3}$ two-thirds, 0 5 2 - 7 8 1 - 3 0 1 4

4 物価について

(yen)

	rice	bread	beef	tea	movie
Tokyo		800	250	1500	
New york	1000		240		
London	1500	100		50	1050

②指導例

Shopping についての具体的な指導案を次にしめす。

学習指導案

指導者：山本 岩男

- 1 日時：1989年12月16日 第2限
- 2 学級：第2学年B組 名古屋大学教育学部附属中学校
- 3 教材：Shopping
- 4 本時のねらい：(1)英語で数字を読めるようにする
(2)対話ゲームを通して How much is ...? It is ...yen. という対話がスムーズにできるようにする
- 5 指導過程

手順	学習活動	留意点
1 あいさつ	T: Good morning, class. C: Good morning, Mr. Yamamoto.	元気よく
2 対話練習	新出語の発音練習 対話の音読練習	f, th の発音に留意する 動作をつけて
3 新出事項の導入	英語における数字の読み方をプリントの例を用いて説明する 数字の書いてあるカードを見せてその読み方を質問する 正しい読み方を全員で発音する	必要に応じてハイッというキューをだして答えやすくする
4 対話ゲーム	How much is ...? It'syen. という問答をしながら表を完成させる T: How much is ...? SI: It's ...yen. という対話をしながら表が完成されているかチェックする	ゲームの方法を例を使っていねいに指導する 絶対に日本語では質問しないようにさせる 都市によって物価がかなり違うことを理解させる
5 あいさつ	T: Good by, class. C: Good by, Mr. Yamamoto.	元気よく

Teaching Plan

By John P.H. Vigman

- 1 Date : December 16, 1989
- 2 Class : The 2nd year Class A, B, Nagoya University Junior High School
- 3 Text : Shopping
- 4 Aims of this period
 - 1) To let the students understand that the way of giving change is different between Japan and the United States.
 - 2) To make them learn how to read the numbers
- 5 Procedure in detail

	Instructor	Student
1. Greeting	Greeting lively	Greeting lively
2. Presentation of New Materials	Model reading of the dialog	Listening carefully
3. Reading Practice	Pronouncing the new words Model reading of the dialog	Repeating after the instructor Repeating after the instructor
4. Pair Practice	Walking around the students and check how they are doing	Practicing the dialog with his partner
5. Presentaion	Pointing out wrong pronunciation and show the model Making all students pronounce the words which presenters failed	A pair of students go up to the instructor and present the dialog without reading the material Pronunciation Practice
6. Further Practice	Model reading of numbers in the material Writing numbers and check if the students can read	Repeating after the instructor Read numbers in English
7. Greeting	Greeting lively	Greeting lively

3 生徒の反応

ティームティーチングによる授業の終了した段階で、これまで報告してきたような授業をうけてきた生徒がどのように感じていたのかを、アンケート調査によってつかんでみようとした。その内容と結果を次のページに紹介する。

全体的にみると、ビグマン先生の指導方法を良いと思う生徒が多数おり、彼らは聞いたり話したりする能力を伸ばそうと積極的に努力したということがいえる。細かく考察していくと、まず、アンケート項目1の中ではビグマン先生の指導態度、20人の少人数クラス、対話を通して行われた発音練習に重点をおいたことが良い評価を得ている。これは教師側のねらい通りであった。筆者とビグマン先生の授業を25分ずつうけたことについて評価がやや低いのは、ビグマン先生に50分間指導してほしいという気持ちからであろう。また、書く練習をしなかったことについて評価が最も低かったことは、やはり書く練習をしないと英語力は向上しないと信じているからと思われる。アンケート項目2では、66%の生徒がビグマン先生の言ったことを60%以上理解したと答えている。これはビグマン先生がゼスチュアやイントネーションを使ったり、難しい内容については繰り返し説明したり、時々日本語も用いたからであろう。

アンケート項目3については、ビグマン先生の授業をうけた結果、外国人への抵抗感が減り、英語への興味が増し、発音のポイントをつかんだとする反応が多い。外国人とのコミュニケーション、および英語学習への意欲を増加させることに効果があったと解釈できる。英語をきらいになったとする回答も5名あった。これについては教師に対するいやがらせ的な要素も含まれていると思われるが、謙虚に反省し、全員の態度が好ましい方向に変化するように取り組まねばならない。アンケート項目4については、最初に述べたので省略する。アンケート項目5では、次年度も外国人講師による指導を希望するという生徒が圧倒的で、しかも年間を通じて週1回その授業をうけてみたいとする生徒が多かった。中には、毎日という生徒もおり、いかに外国人講師による指導が求められているかわかる。(この要望に応え、1989年度中学二年生は1990年度の前期に外国人講師による指導を週1回うけている。)

4 指導者の立場より

A 指導内容について

筆者は教科書の英語を教えるのではなく、教科書で英語を教えることを常に心がけている。そこで今回ティームティーチングの教材としてあえて教科書を使用しなかった。教科書というどうしても定期テストや通知表などを連想させてしまう。特に中学二年生はこの時期に高校入試を意識し始める。中学に入学して1年半の間に、教科書を用いた授業によって劣等感を持つようになったり、文法事項が複雑化し、覚えなければならない語彙もふえて、英語嫌いが急速に進行する時期でもある。このような生徒の心理を考慮に入れ、これまでの学習活動の結果生じてきた学力差を意識することなく、新鮮な気持ちで、興味をもって、意欲的に英語を学習できるように、あえて教科書を用いなかった。そのかわりにオリジナルの対話とインフォメーションギャップを利用したゲームを中心にしたプリント教材を用いて指導した。対話の内容は、Body Languageやおつりの渡し方、学校での昼食についてなど文化の違いを意識したもの、映画についてや電話での会話など身近な話題を扱ったもの、マルタでの米ソ首脳会談などの時事的なものであった。ビグマン先生が対話を指導し、筆者がコミュニケーションゲームを指導した。内容的にも形式的にもバランスのとれたものができたと考えていたが、生徒へのアンケートでは項目1でプリントの内容についての評価があまり高くなく、やや残念であった。

B 少人数クラスについて

筆者とビグマン先生が、ホームルームで40人の生徒を2人で同時に指導するのではなく、20人ずつの二つのグループに分けて、それぞれ25分ずつ交替で指導するという方法をとった。その理由は以下の通りである。第一に、大規模クラスでは聞く、話す活動に重点をおく外国語教育は困難である。第二に、50分の授業を有効に生かすためには、50分連続して同じ構成で指導をうけるより、25分の授業を2つうけると考えたほうが集中力という点で効果的である。また指導者が教室を移動する間のほんの数秒でもリラックスできると気分転換にもなる。第三に、外国人講師は40人もの大人数を相手に指導するのに慣れていない。第四に、同じ教室で日本人教師と外国人講師が同時に指導すると、外国人講師が human tape recorder のような役割になってしまう危険があり、それを避ける。

中二 ジョン ビグマン先生の授業についてのアンケート

1 10月より本校で初めて外国人講師のジョンビグマン先生に毎週授業を行っていただきました。その授業の以下の点について、英語力をつけるためにはどの程度効果があったか()内にあなたの評価に対応する番号を入れてください。

1-全くだめだ 2-あまりよくない 3-ふつう 4-まあまあよい 5-とてもよい

- () 授業で使ったプリントの内容 () ジョン先生の指導態度
() 山本先生とビグマン先生の授業を25分ずつうけたこと
() クラスの人数が20人だったこと
() ビグマン先生の授業では英語の発音を中心に勉強したこと
() 書く練習をしなかったこと

2 あなたはビグマン先生の言っていたとがどの程度理解できたと思いますか。 () %
それはどうしてだと思いますか。

[]

3 ビグマン先生による授業を受けた結果、次のようになったと思うものに○をつけて下さい。いくつつけてもよいし、一つもつけなくてもよいです。

- () 外国の人と話すことへの抵抗感が少なくなったと思う。
() 英語に興味をもてるようになった。
() 訳のわからないことを聞かされて英語をきらいになった。
() 発音のポイントが何となくわかった。

その他ビグマン先生の授業を受けた感想、自分の英語についての意識の変化など、自由に書いて下さい。

[]

4 あなたはビグマン先生と山本先生による土曜日の授業で、英語を聞いたり、話したりする能力を伸ばそうと積極的に努力しましたか、次のどれにあてはまるか()に番号で答えなさい。

とても熱心に-5 かなり熱心に-4 ふつう-3 ほとんどやらない-2 全然しない-1
() ビグマン先生による授業 () 山本先生による授業

5 来年度は未定ですが、外国人講師の授業を受けてみたいですか。

(yes, no) (○をつける)

yes の人はどれくらいの期間、回数がよいですか。

(3か月) 週 () 回
(半年)
(1年) ○をつける

外国人講師による授業の内容について要望があればできるだけ詳しく書いて下さい。

[]

私は(A, B)組の(男, 女)です。(○をつける)

アンケートの結果

1

	5	4	3	2	1	平均
プリント内容	13人	27	28	3	4	3.6
ビグマン先生	34	17	19	2	3	4.0
25分ずつ	19	20	16	15	4	3.5
20人学級	32	14	23	4	2	3.9
発音中心	42	15	12	4	2	4.2
書く練習なし	18	9	26	16	5	3.3

2 ビグマン先生の言っていたことをどれだけ理解したか

80%~100%	50~79%	0~49%

3 意識の変化

外国の人と話すことへの抵抗感がへった	35人
英語に興味をもてるようになった	22
わからないことを聞かされて英語をきらいになった	4
発音のポイントが何となくわかった	57

意識の変化について

- ・気軽に英語を使えるようになった。
- ・今までは外国の人が何となくこわかったけど、ビグマン先生の授業を受けてこわくなくなった。
- ・英語が少し好きになった。
- ・授業をうけて発音がよくなったと思う。そのことによって自分の話す英語に自信がついた。
- ・ビグマン先生の授業はよかった。英語も少し楽しくなった。
- ・たとえば see, she なんていう何でもない発音を知っているつもりだったのに外国人としゃべると全然違うなあ
と英語の難しさがわかった。だいふためになったと思う。英語の勉強だけじゃなくて外国人に対するうけとめ
かたを得たと思う。

4

	5	4	3	2	1	平均
ビグマン先生	13人	33	27	2	0	3.7
山本先生	2	31	27	8	4	3.3

5

Yes	68
No	7

3か月	10
半年	16
1年	37

週1回	31
2	16
3	1
4	2
5	1
6	3

これについて生徒の反応は、アンケート項目1で少人数クラスに好意的な結果となっているし、ビグマン先生へのアンケートで、彼も同様に答えている。筆者も生徒ひとりひとりに注意をむけることができ満足している。ただし、このような方法の指導がうまくいったのも、幸いにもビグマン先生が誠実で、かなり日本語にも習熟していて、生徒の学習態度にとっても厳格であったからだと思う。

個人的な指導方法について、筆者の反省すべき点は生徒がアンケート項目4で答えているように、筆者の授業の中で、聞く、話す能力を伸ばそうとする意欲を引き出すことが不十分だったことである。特に、生徒にはできるだけ日本語を使用しないように指導したが、それが徹底できなかつたことは残念で、これから実践しながら工夫を重ねようと考えている。

ビグマン先生には次のページのようなアンケートに答えてもらった。項目3で彼が好む活動は、役割を分担して、自分の分担については自分一人で教えること、日本人教師に、より自然な英語を指導することであった。項目4で彼が不満に思ったのは、最後の2回の授業で通常授業のように40人の生徒がホームルームにいて、筆者と彼が2人で同時に指導したこと、生徒が授業中に彼の言ったことを理解したかどうか、はっきり Yes, No の意思表示をしなかつたことである。項目5では、彼は筆者の作成したプリント教材の内容、指導の展開に満足していた。項目6では次のようなコメントがよせられた。

This has been quite enjoyable as the students, on the whole, seemed motivated. Some really made an effort and improved the pronunciation. Often teaching English is a futile endeavor as the students I teach, mostly businessmen, seem to have no interest in really improving their grammar or pronunciation. This has not been the case here. This has been one of the few teaching jobs that has been personally rewarding.

5 まとめと課題

苦勞して探しあてたビグマン先生はそのかいあって、とても誠実で明るく、日本における英語教育の現状について理解し、英語科やその他の教師に友好的であった。そのため筆者も気分よく打ち合わせや、反省会をもつことができ、お互いの指導もスムーズに進んだと思う。彼は話題が大変豊富で、筆者はビグマン先生との雑談を大いに楽しみ、勉強させてもらった。特に興味があった内容、たとえば Body Language の国際比較やタイ旅行でのエピソード、三菱地所によるニューヨークのロックフェラーセンターの株購入などについては、生徒にもわかりやすく説明した。彼は英

語教育の専門家ではないが、ドイツ語、フランス語を自由に話すことができるので外国語教育の要点を心得ていたし、生徒の学習態度に非常に厳格で、本校で外国人講師を採用するのは初めてだったにもかかわらず、順調に授業を行うことができた。今回の実践の成果としては、成績中位、下位で、ふだんの授業では意欲のない生徒が英語を聞き、話す活動中心の土曜の授業では積極的に取り組むことができたことである。それがきっかけとなって通常の授業でも学習意欲が高まった。成績上位者については、聞く、話す能力の向上とより高度な学習への動機づけとなった。全体的には、わずか半年の実践でありながら、当初の目的を達成するための英語学習への刺激となったと考えられる。課題としては、話す活動をどのように評価するかということ、筆者の指導においていかに日本語を用いずに、英語だけでコミュニケーションをはかるようにするかということがあげられる。なお、以上に報告した実践研究は、文部省科学研究費の補助を受けたことを付記しておく。

参考文献

- 研究社「現代英語教育」、3～12月号、1988
- 語学教育研究所「中学校・高等学校英語教育における外国人教師の役割に関する実態調査と授業方法の開発」、語学教育研究所紀要2号、1988
- 萬戸克憲「外国人講師との授業」、大修館、1988
- 和田稔「外国人講師との Team Teaching」、開隆堂、1988
- 和田稔、荒木秀二、関正幸「外国人講師との協力を生かす英語科授業」、明治図書、1988

Questionnaire

Please answer the following questions by checking an appropriate item.

1 Is your contract stated clearly ?

Yes No

2 Are you satisfied with your contract ?

Yes No

If not satisfied, please state how.

3 What are the activities you feel you would like to do, including what you are now doing ? (Check as many items as you like.)

- Teaching classes on your own
- Teaching in cooperation with a Japanese teacher
- Serving as a native informant
- Participating in planning how to conduct classes
- Making teaching materials and tests
- Making audio-visual materials
- Giving suggestions and advice to Japanese teachers
- Helping Japanese teachers with their problems in English
- Others _____

4 What are some of the problems you have encountered ? (Check as many items as you like.)

- Teaching in a large class
- Teaching materials not adequate
- Teaching methods not adequate
- Having difficulty in understanding your Japanese colleagues
- Having difficulty in making yourself understood to your Japanese colleagues
- Having difficulty in understanding your students
- Having difficulty in making yourself understood to your students
- Having difficulty in getting along with your colleagues at work
- Teaching two hours with a short break

5 Make a brief comment on each item below

a. Attitude of Japanese teachers to you

b. Class Size

c. Teaching Materials

d. Teaching Methods

6 Please write freely on your teaching at our school
